

クルーズ拠点港としての横浜港の展望

令和7年4月25日
横浜市港湾局

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

横浜港の概要

横浜港の地理的条件

■首都圏・東日本のメインポート

- ✓ **東京湾の湾口に近接**
(燃料コスト縮減、荷役・乗下船時間を長く確保)
- ✓ 高速道路網や交通網が発展、
羽田空港にも近く、
ターミナルへのアクセスが容易
- ✓ 背後地に4,000万人の人口を
抱える**商圏としての魅力**



豊富な発着クルーズ受入実績

横浜港の寄港実績 (2024)

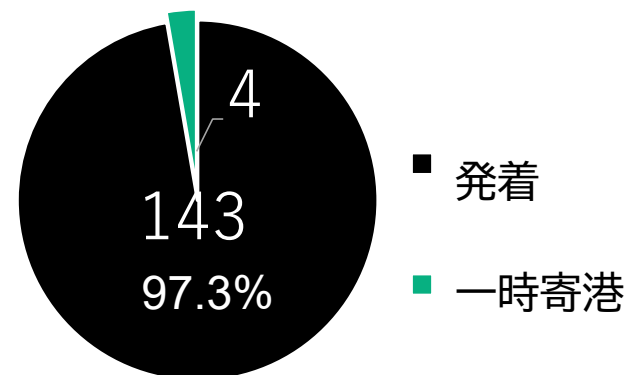


寄港回数
147回
(国内第4位)

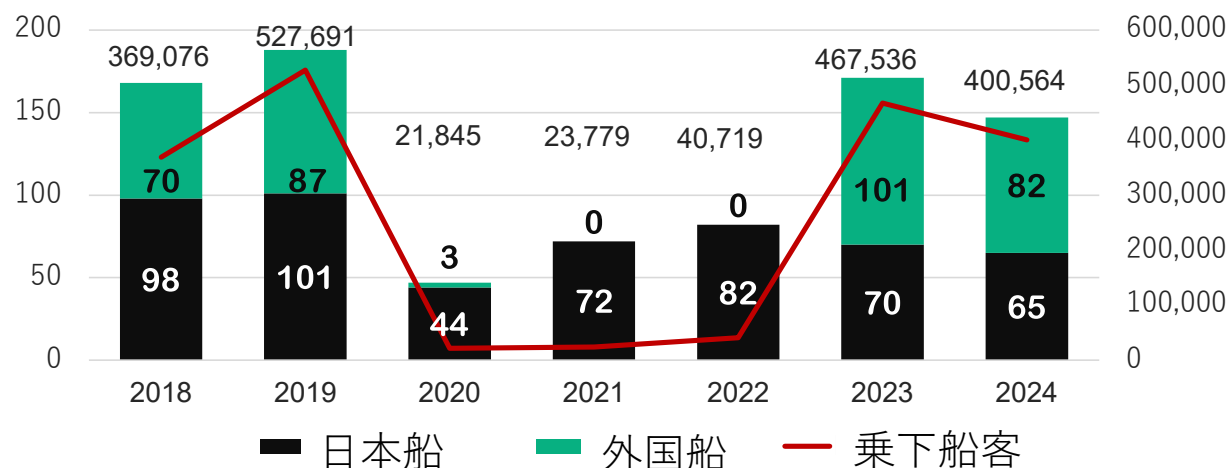


乗下船客数
40万人

97%が発着



寄港回数と乗下船客数



日本船籍船の寄港数
65回

※20年以上、連続日本一を更新中

ふ頭別内訳
大さん橋95回、新港38回、大黒14回

3ターミナルで様々なクルーズ船の受入に対応



日本初となる
5隻同時着岸

(令和5年4月28日)

横浜港の客船受入れ施設

新港ふ頭客船ターミナル
(新港 9 号岸壁)
延長340m、水深9.5m
(110,000GT級対応可能)

大さん橋国際客船ターミナル
新港側 延長450m、水深10~11m
山下側 延長450m、水深12m
(110,000GT級対応可能)

大黒ふ頭客船ターミナル
(P 3・P 4、T 3~T 6 岸壁)
延長 1030m 水深 10~12m
(120,000GT級以上対応可能)

横浜ベイブリッジ
(桁下55m)

本牧ふ頭

本牧ふ頭A突堤
(A 5・A 6 岸壁)
延長 600m 水深12m
(120,000GT級以上対応可能)

山下ふ頭
(2 号、3 号岸壁)
延長420m、水深12m
(110,000GT級対応可能)

新港ふ頭

大さん橋

山下ふ頭

国道357号線

大黒ふ頭

横浜港の特徴 → 発着拠点としての優位性

信頼できる 施設と サービス

▶3つの客船ターミナル
- 最大**7隻が同時着岸可能**

▶**豊富な受入実績**
- オペレーションノウハウ

▶立地とアクセスの良さ
- **羽田空港至近** **フライ&クルーズ**が可能
- 広い背後地による**ドライブ&クルーズ**が可能

▶入港、給水、船舶補給
が**24時間可能**

▶**航路の短さ**（東京湾の**湾口に近接**）
- 燃料コスト・CO2排出量
- 荷役等の時間確保
- 乗船客の観光時間確保

港周辺の観光

▶**海から見た美しい街並み**
- 乗客をもてなす景観

▶**歴史的地区まで徒歩圏内**（大さん橋・新港）
- **みなと周辺の街歩き**が可能

横浜港 3つの客船ターミナル

	大さん橋国際客船ターミナル	新港ふ頭客船ターミナル	大黒ふ頭客船ターミナル
ターミナル床面積	約 44,000 m ²	約 4,200 m ²	約 5,600 m ²
岸壁延長	A & B: 450m,C & D: 450m	S9:340m	P3&4:290m,T3-6:740m
水深	A & B: 12m,C & D: 10-11m	S9: 9.5m	P3&4: 12m,T3-6: 11m
エプロン幅(岸壁幅)	A & B: 20m,C & D: 20m	20m	20m
渡船橋	4 機 (可動式)	なし	なし
潮位差	2m	2m	2m
サイズ	~110,000GT	~110,000GT	120,000GT~
駐車場	あり	あり	あり
写真			

大さん橋客船ターミナル

(2002年供用)

- 横浜港の主力客船ターミナル（毎年約100回受入）
- 屋上広場では、クルーズ船の送迎イベントを実施(随時)



- 所在地
横浜市中区海岸通1-1-4
- アクセス
日本大通り駅から徒歩7分
関内駅から徒歩15分
- 駐車場
普通車400台 バス6台
クルーズ割引あり

- 【着岸する主な船】
- 飛鳥Ⅱ
- ダイヤモンド・プリンセス
- セレブリティ・ミレニウム

新港心頭客船ターミナル

(2019年供用)

- 日本初の商業・ホテル一体型の複合客船ターミナル
- 歴史的建造物「ハンマーヘッド」パークが隣接
- 最上級の滞在型リゾートとして、ラグジュアリー船のお出迎え

【着岸する主な船】
○につぼん丸
○三井オーシャンフジ
○シルバー・ミューズ
○リビエラ

- ▶ **みなとみらい中心部**に立地
 - ・周辺で買物や飲食が可能
 - ・鉄道駅が近い

- ▶ ハンマーヘッドクレーンは近代化産業遺産に認定

- 所在地 横浜市中区新港2-14-1
- アクセス 馬車道駅から徒歩10分
みなとみらい駅から徒歩12分
桜木町駅から徒歩15分
- 駐車場:クルーズ割引あり



横浜ハンマーヘッド 10

大黒心頭客船ターミナル

(2019年供用)

- バイブリッジを通過できない超大型クルーズ船に対応
- ドライブ&クルーズの実施
- 日本で唯一超大型クルーズ船が2隻同時着岸可能

【着岸する主な船】

- クイーン・エリザベス
- MSCベリッシマ
- スペクトラム・オブ・ザ・シーズ

CIQと待合スペース
1,500㎡が3棟
(合計4,500㎡)



ドライブ&クルーズ
も可能(最大300台)

この他シャトルバス・
送迎車用エリアあり



○所在地

横浜市鶴見区大黒心頭13

○アクセス **【羽田空港至近】**

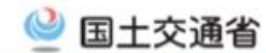
首都高速道路・湾岸線及び神奈川5号大黒線「大黒心頭」出口から5分



発着クルーズの増加

日本船社が運航するクルーズ船の増加

トピック①(邦船社による投資の拡大)



- 郵船クルーズ(株)と商船三井クルーズ(株)は、購入船や新造船の予定があり、船の増加による寄港可能性の拡大が見込まれる。



飛鳥Ⅲ (イメージCG)



MITSUI OCEAN FUJI

船社	郵船クルーズ	商船三井クルーズ		
船名	飛鳥Ⅲ	MITSUI OCEAN FUJI	購入船 (Mitsui Ocean Fujiと同型)	新造船
総トン数	52,200トン	32,477トン	32,477トン	35,000トン級
乗客定員	744人	458人	458人	-
その他	•日本初のLNG燃料クルーズ船 •「飛鳥Ⅱ」と2隻体制で運航 •2025年7月の就航を予定	•2023年3月に購入 •2024年12月から就航開始	•2025年3月に購入 •2026年後半から就航を予定	•2028年以降就航を予定

出典: 各社ホームページ

横浜を船籍港とするクルーズ船

飛鳥Ⅲ 2025年7月20日デビュー予定

総トン数:5万2千トン
乗客定員 約740人
全長:230m
全幅:29.8m



ASUKA CRUISE



船内イメージ
(ASUKA CRUISE WEBより)



飛鳥Ⅱ



多くの市民に見送られ世界一周クルーズに出航する飛鳥Ⅱ

総トン数:5万トン、乗客定員 872人
全長:240m、全幅:29.6m

クルーズ船受入による地域活性化

クルーズ船の誘致と観光による市内経済の活性化

クルーズ船一隻あたりの経済波及効果

○世界一周クルーズ（50,000総トン）

→ 約3億2,500万円

○アジアクルーズ（110,000総トン）

→ 約1億7,500万円

経済波及効果

直接効果

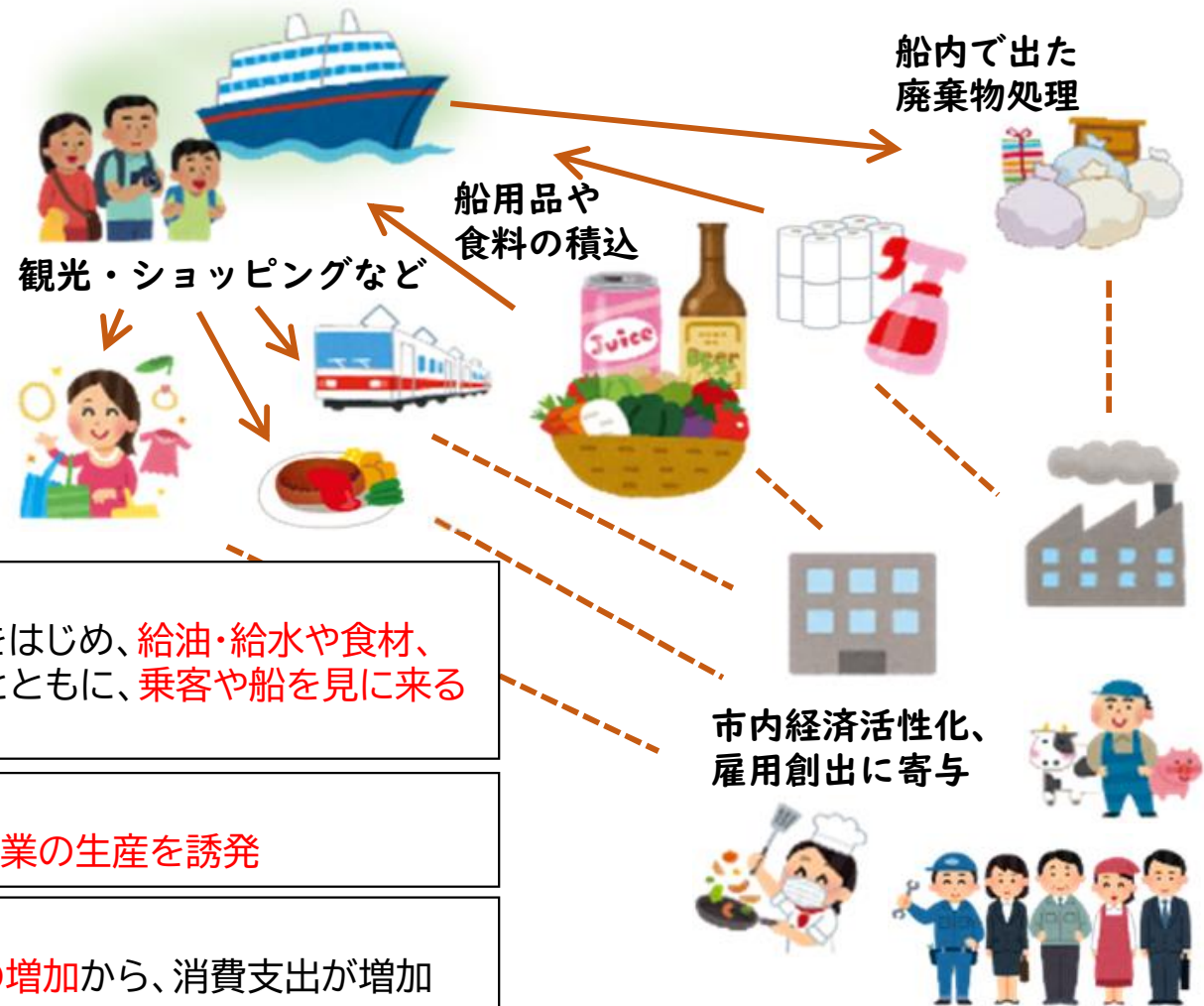
クルーズ船が寄港するたびに、入出港に伴う諸経費をはじめ、給油・給水や食材、アメニティグッズ等の各種船用品の需要が発生するとともに、乗客や船を見に来る観光客の土産物や飲食等の支出が発生

1次間接波及効果

観光消費の発生により、原材料購入等を通じ、関連産業の生産を誘発

2次間接波及効果

直接・第1次間接波及効果の発生による雇用者所得の増加から、消費支出が増加し、関連産業の生産を誘発



観光促進の取組

周遊促進策 クルーズ・フレンドリー・プログラム

- クルーズ旅客やクルーを対象に、割引、英語対応、早朝営業等の優待サービスを提供
- 都心臨海部約120店舗(飲食・物販店等)が加盟
- 南フランス・ヴァール県の商工会議所とライセンス契約



ガイドブック・アプリ・ 街中の案内板の一体運用

- ガイドブックとWEB・アプリを連動させ、客船ターミナル周辺の回遊を促し、滞在する魅力をPR

みなとの街歩きガイド

ウェブアプリ (15か国語対応)

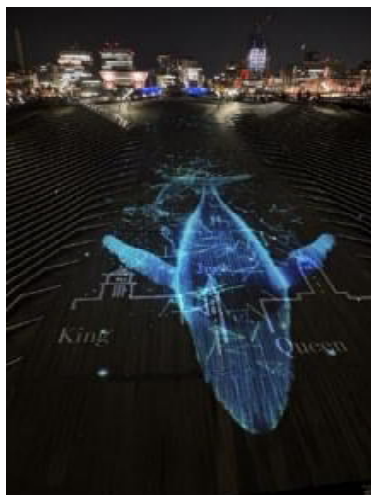


クルーズ前後の市内滞在を促す取組

夜景 & 花火

- 2024年に日本新三大夜景に選定
- 年間を通じ、週末を中心に5分間の花火を打上げ
- イルミネーションやプロジェクションマッピングを実施

大さん橋でのプロジェクションマッピング



市内宿泊の促進

- 近年、ターミナル周辺に、
外資系ホテルが続々進出
- クルーズ前後の宿泊がより便利に
- プレ・ポスト クルーズ需要喚起



新港ふ頭客船ターミナルには、
インターコンチネンタルホテル横浜Pier8が併設



Port of Yokohama